

昭和53年度漁況海況予報事業

I 調査目的

この事業は、沿岸、沖合漁業に関する漁況、海況の調査研究および資源研究の結果にもとづいて予報を作成するとともに、漁況、海況情報を迅速に収集処理することにより、漁業資源の合理的利用と操業の効率化を図り漁業経営の安定に資する

II 調査内容

1. 調査期間 昭和53年4月～昭和54年3月
2. 海 域 青森県
3. 調査船

東奥丸	134.47 トン	1000 PS
幸洋丸	121.22 トン	400 PS
瑞鷗丸	40.81 トン	170 PS
青鵬丸	19.94 トン	200 PS
開運丸	299.56 トン	1600 PS
4. 担当者

主任研究員	赤 羽 光 秋
技 師	田 村 真 通
技 師	高 梨 勝 美
技 師	鈴 木 史 紀
臨 時	小 野 高 義
5. 調査項目および方法
 - (1) 海 況 調 査 試験船により漁況、海況予報事業で定められた定点を月単位で観測することにより資料を得た。
 - (2) 漁 況 調 査 スルメイカ、ヤリイカ、マグロ、サバ、ブリ、サンマ、イワシ等主要漁種のデータを対象漁協に調べに行くか、普及員を通じて得た。
 - (3) 漁場一斉調査 太平洋におけるイカ類及サンマの漁場一斉調査に参加し試験操業結果予報作成の根拠となるデータを得た。

III 調査結果

1. 1978年3月～11月の海況推移の特徴

A 日本海

本県日本海沿岸に沿って北上する対馬暖流の勢力は、9月にやや強くなった他は平年並かやや弱勢に推移した。

B 太平洋

津軽暖流の勢力は総体にはほぼ平年並に推移し親潮第1分枝の張出しは顕著で中心水温は6月頃まで例年よりかなり低めとなっていたことが特徴的であった。

2. 漁況の推移と特徴

(1) 日本海沿岸

日本海沿岸の主要漁業の一つであるスルメイカー本釣による漁獲量は2,037トンではほぼ昨年並となり、不振の傾向が相変らず続いている。大型定置網漁業ではサバが74トンで好漁、ブリが114トンではほぼ平年並であった外は、マイワシ4トン、アジ1トン、マグロ11トンといずれも低調に推移した。調査対象4港におけるヤリイカは1,050トン（例年の約1.5倍）であった。

(2) 津軽海峡沿岸

大畑近海におけるスルメイカー本釣の初漁は昨年同様に遅れ、7月の上旬から始まり漁獲量は1,730トンと不振に経過した。

(3) 陸奥湾

後潟定置網にマサバ約8トンの入網があったがこれは、日本海太平洋の傾向と異なり近年では最低でマイワシは233トンで平年並であった。

(4) 太平洋沿岸

沿岸のスルメイカ漁は昨年同様遅く漁期が始まり漁獲量は306トンで近年最低であった昨年の漁獲量（192トン）を上回ったものの相変らず不振に経過している。しかし、旋網のサバ、マイワシの漁獲量はそれぞれ45万トン（三陸サバ37万トン道東サバ8万トン）、10万トンで近年では最高の生産量を示した。

(5) 沖 合

八戸港、大畑港のアカイカ水揚量は7,066トンで近年では最も多い。一方日本海沖合水域のスルメイカ漁獲量は、33,156トンで昨年に引続き低い水準となっている。また棒受網による太平洋沖合のサンマは八戸港に9～11月まで3,429トンが水揚げされ平年並（3,259トン）となっている。

3. 漁場一斉調査結果

(1) 大太平洋イカ類漁場一斉調査

第1次（6月11日～15日）

イカ釣操業は6点で実施したが近年のスルメイカ資源衰退および海況を反映して全く漁獲はなかった。

第2次（8月24日～27日）

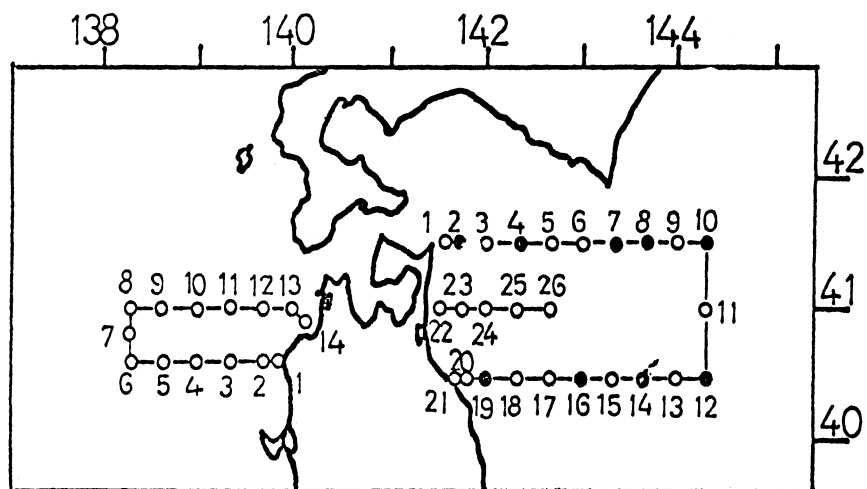
8点で操業し漁獲されたのは、アカイカだけで、766尾の釣獲があり、C. P. U. E.は7.1尾で昨年の40尾より良い成績であった。

(2) サンマ漁場一斉調査

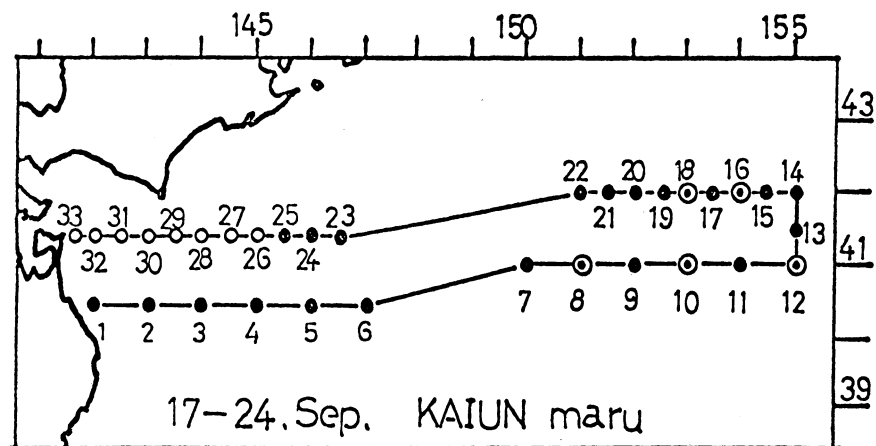
9月17日～9月24日、サンマ漁場一斉調査に参加し、33点で観測を、5点で流網3反を用いて漁獲試験を行い、85尾の漁獲があり尾又長は24～32cmであった。

Ⅳ 今後の課題

本県漁業の中で最も依存度の高いスルメイカ漁業が不振の折から、スルメイカの資源（漁況）予測およびそれに代るべき、アカイカの資源（漁況）予測について一層関係機関と連携を保ち強化していく必要がある。



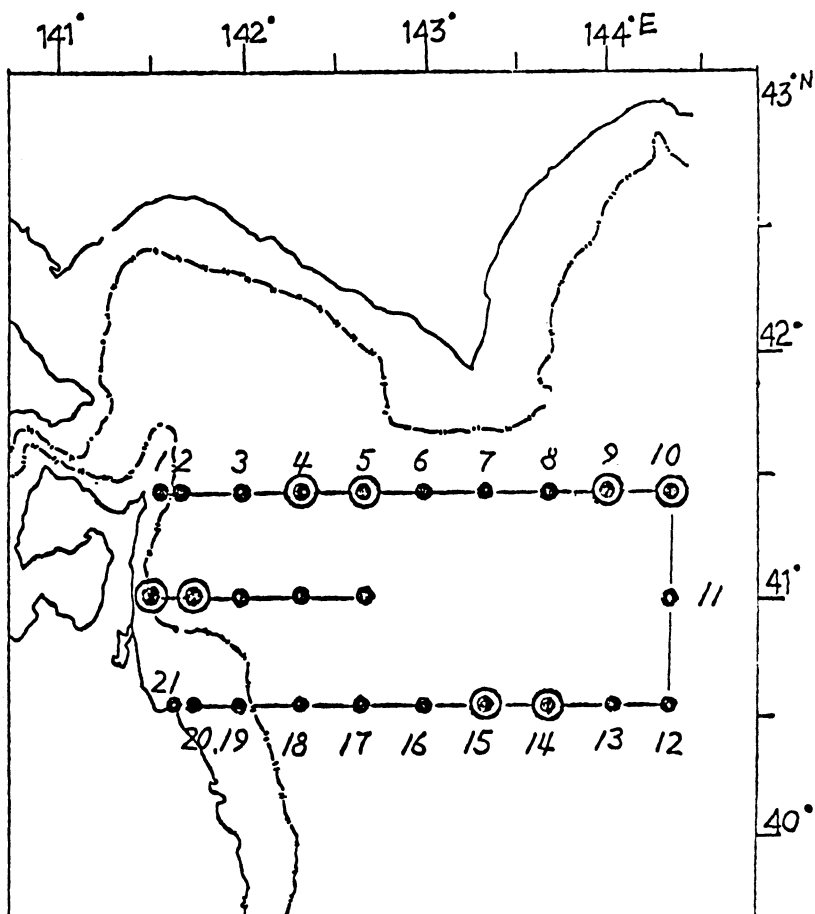
第1図 漁海況予報事業観測定線（黒丸は、稚魚・PL採集定点）

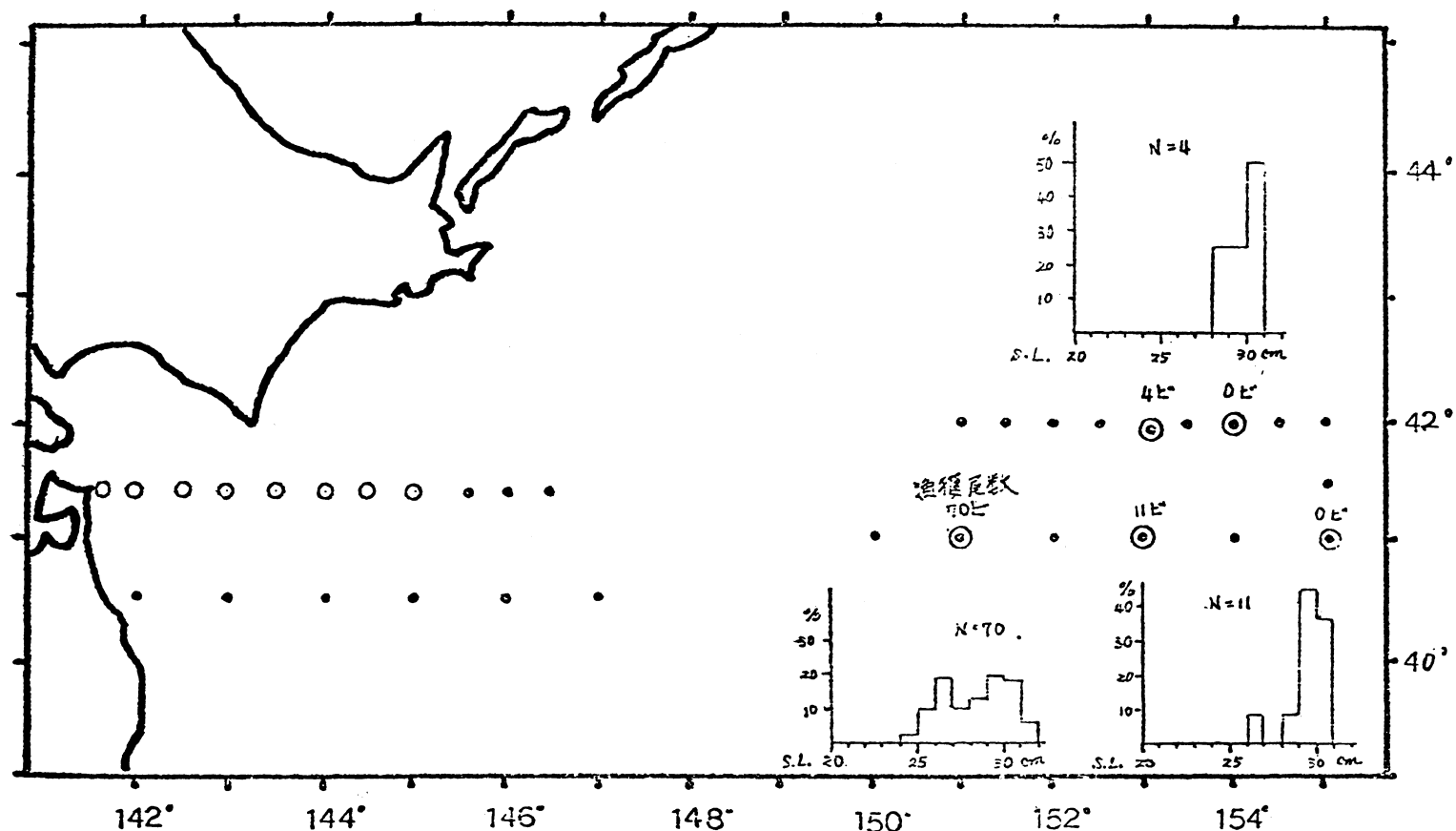


第2図 サンマ漁場一斉調査定線

- 通常観測
- D.B.Tによる観測
- ◎ 流し網操業

第3図 太平洋スルメイカ漁場一斉調査定点





第4図 昭和53年度サンマー斉調査結果 (9月17日～9月24日 試験船開運丸)

● D.B.Tによる観測
○ 通常観測

◎ 流網操業
(16.5mm目張使用)

第 1 表 太平洋イカ類漁場一斉調査結果

	第 1 次	第 2 次
実 施 期 間	6 月 11 日～6 月 15 日	8 月 24 日～8 月 27 日
実 施 海 域	40° 31' ～ 41° 29' N 141° 30' ～ 144° 20' E	40° 32' ～ 41° 26' N 141° 45' ～ 144° 20' E
操 業 回 数	6 回	8 回
漁 獲 努 力 (操業時間×釣機台数)	時間・台 46. 8	時間・台 108. 21
漁 獲 尾 数		
スルメイカ	0 尾	0 尾
アカイカ	0 尾	766 尾
C. P. U. E.		
スルメイカ	0 尾	0 尾
アカイカ	0 尾	7. 1 尾

担当船 第 1 次 幸洋丸

第 2 次 東奥丸